



評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE柏2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)柏駅前増谷恒産ビル	階数	地上14F
建設地	千葉県柏市柏3丁目833-18、833-1	構造	RC造
用途地域	商業地域、近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	351 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル,工場,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年3月14日
敷地面積	1,334 m ²	作成者	(株)東横インアーキテクト
建築面積	436 m ²	確認日	2019年3月14日
延床面積	5,394 m ²	確認者	(株)東横インアーキテクト



ださい

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 95%
③上記+②以外の 95%
④上記+ 95%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 省エネルギー性を高め、温熱環境負荷の低減を図る。		その他 特になし。
Q1 室内環境 開口部に遮音性の高い建具を採用し、内装仕上げにF☆☆☆☆の建築材料を使用することで、シックハウス対策等、宿泊者の快適性に配慮している。	Q2 サービス性能 各種設備の配管は耐用年数の高い材質を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 断熱性の高い断熱材を採用し、熱負荷の低減を図る。	LR2 資源・マテリアル 発泡剤を用いた断熱材等を使用しておらず、環境に配慮している。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車スペースの確保。燃焼機器を使用せず、敷地外環境へ配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

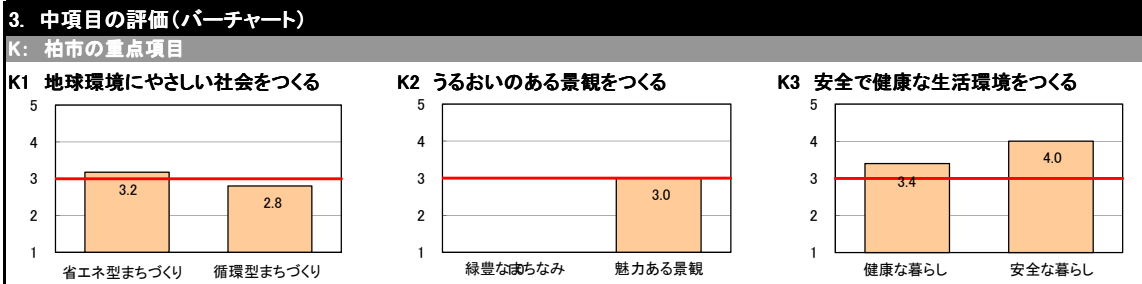


評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE柏2016(v2.1)

1 建物概要			
建物名称 (仮称)柏駅前増谷恒産ビル	建築物の環境効率 (BEEランク)	B-	★★★★★

2 重点項目への取り組み度			
重点項目	取り組み度※(得点/満点)		評価結果
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	2.9 / 5.0		がんばろう
K2 うるおいのある景観をつくる	2.0 / 5.0		がんばろう
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3.7 / 5.0		ふっつ
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上	ふっつ 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項			
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <p>断熱性の高い断熱材等を採用し、熱負荷の低減を図る。</p> <p>井水を洗浄水として全館で利用。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 省エネ型まちづくり</p> <p>1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 4.3</p> <p>1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 3.0</p> <p>1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 2.3</p> <p>1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 3.0</p> <p>2. 循環型まちづくり</p> <p>2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.7</p> <p>2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 3.0</p> <p>2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 2.5</p> <p>2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 2.0</p>		
	<p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <p>特になし。</p> <p>特になし。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <p>1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 1.0</p> <p>2. 魅力ある景観</p> <p>2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 3.0</p> <p>2.2 水空間の創出 設置の有無 -</p> <p>2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 -</p>	
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <p>階段や廊下、WC、敷地内の通路にそれぞれ適切なバリアフリーに配慮した設計(床を滑りにくい仕上げ、段差をなくす、手摺、誘導用ブロック、点状ブロック、車いす使用者用便所設置等)を行なっている。</p> <p>夜間照明の設置を行い、防犯性に配慮している。</p>		<p>スコアシート</p> <p>1. 健康な暮らし</p> <p>1.1 空気質環境(Q1-4) スコア 2.8</p> <p>1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 4.0</p> <p>2. 安全な暮らし</p> <p>2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.0</p> <p>2.2 防犯対策 防犯性の配慮 O</p>	